

平成22年度第6回公立大学法人熊本県立大学経営会議
議 事 録

日 時：平成23年3月16日（水）午後2時30分～午後4時45分

場 所：公立大学法人熊本県立大学大会議室

出 席：理事長 蓑茂壽太郎
副理事長（学長）古賀 実
理事（事務局長）益田和弘
理事 横田 剛
委員 小栗宏夫
委員 本田榮子
委員 福田興次
委員 安田公寛※

※印は、公立大学法人熊本県立大学経営会議運営規程第3条第1項の規定に基づく書面での意思表示による出席者。

欠 席：なし

事務局：三角次長、阪本企画調整室長、馬場総務課長、林田教務入試課長、高橋学生支援課長、枝國地域連携センター事務長、田中学術情報メディアセンター事務長、川上総務課総務班長、林企画調整室主幹

1 開会（進行：三角次長）

2 理事長あいさつ

3 議 題（議長：蓑茂理事長）

（1）審議事項

① 「もっこすプラン2011」について

事務局から、資料1に基づき、「もっこすプラン2011については、1月の運営調整会議で未達成項目の対応や重点項目について審議いただき、その後教育研究会議、経営会議で審議いただいた。経営会議では、未達成項目について、未達成要因に応えるような計画になっていない等の意見をいただいた。本日は、こうした意見を踏まえ見直した項目と、これまで説明していない項目のうち全学で共有しておくべきと考える項目の内容を説明したい。」との説明があり、その上で未達成項目、重点項目の見直し箇所及び全学的な重要項目の説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

② 平成23年度予算（案）について

事務局から、資料2に基づき、「平成23年度予算は、収入、支出とも2,434,014千円を予定しており、前年度に比べ79,685千円の増となる。概要としては、収入予算は運営費交付金が減少するが、定員増により授業料は増加する。文部科学省の補助金収入も増加し、目的積立金を150,000千円活用する。支出予算は、学生教育費については、前年度と同額以上を確保。自己収入に合わせて熊本県立大学未来基金を一

部活用してCPDセンターの整備を行う。また、目的積立金を財源とした計画的な施設改修、研究機器の更新を行う。教務入試課では入試業務により長距離移動に自家用車を使うことが多いので、新たに公用車を導入する。このように、平成23年度年度計画の策定方針で定めた重点事業や中期計画推進事業等を適切に予算に反映させた。」等の説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 教員採用に係る枠取りについて【日本思想史】

古賀学長から、資料3に基づき、「文学部に係る1名の枠取り。専門分野は日本思想史で、職位は准教授又は講師、枠取り事由は退職教員の補充ならびに新たな学科展開のため。平成24年4月1日の採用予定である。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

④ プロパー事務職員の採用について

事務局から、資料4に基づき、「教育課程の編成業務、入試業務、学生の就職支援業務などの大学特有の専門知識の習得と大学を取り巻く環境の変化等に対応し、持続的に安定した業務を遂行するため、平成23年度から平成27年度までの5年間の採用計画に基づき、平成23年4月1日から法人独自の事務職員を2名採用する。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

⑤ 特任准教授の任用について

古賀学長から、資料5に基づき、「文部科学省の大学生の就業力育成支援事業による学生GP事業を推進するため、特任准教授を採用する。任期は1年で、補助事業の事業期間である平成27年3月末日を超えての契約の更新はしない。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

(2) 報告事項

① 第2期中期計画について

事務局から、資料6に基づき、中期目標、中期計画に記載する事項の法的根拠の説明の後、「基本方針を“スリム化”と“明確化”とし、検討体制については、理事会、経営会議、教育研究会議の下に、運営調整会議を第2期中期計画検討委員会と位置づけ、その下に新たに教育研究検討部会と大学アドミニストレーション検討部会を設置する。さらに、その下に5つの戦略検討グループを設置する。スケジュールは、各部会、各戦略検討グループを順次開催し、6月までに第1段階の検討を行い、10月を目途に素案となる策定委員会案を作成することとしている。県が策定する中期目標の検討と並行して検討し、最終的な中期計画について2月に完成し県へ認可申請を行いたい。」との説明があった。

② 総合管理学部情報管理コース長の選考について

古賀学長から、資料7に基づき、「総合管理学部の松野情報管理コース長から辞任の申し出があったことから、熊本県立大学総合管理学部コース

長選考規程の規定に基づきコース長を交替するもの。新たなコース長として、総合管理学部での在職期間や教務委員等これまでの大学運営関係の実績を踏まえ、宮園博光教授を選考した。」との報告があった。

③ 教員の採用について

古賀学長から、資料8に基づき、「環境共生学部に環境素材学を専門とする教授を1名、海洋資源学を専門とする講師を1名、環境分析化学を専門とする助教を1名、環境生理学を専門とする准教授を1名、給食経営管理学を専門とする助手を1名、計5名を採用する。採用は全て平成23年4月1日としている。」との報告があった

4 その他

○大学評価（認証評価）の結果、東北関東大震災に対する本学の対応について報告があった。

○次回経営会議は、平成23年度第1回目の会議は、平成23年6月15日（水）午後2時30分開催予定であることを確認した。

5 閉会

以上